

事業所における自己評価結果

事業所名 放課後等デイサービス ウィズ・ユ元加治

公表日

2026年 3月 21日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1	埼玉県の基準ではこども一人当たり2.47m以上であるところ、5.97mのスペースがあることから、十分なスペースがあると認識しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1	基準人員は保育士・児童指導員2名以上のところ、保育士・児童指導員を4～5名配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	室内のこどもが使用する場所はバリアフリー化し、スケジュールは絵や文字で視覚化しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	毎日、清掃・消毒を実施し、空気清浄機の稼働や定期的な喚起を行い、環境整備に努めています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	クールダウンのために静養室の利用や、集中するために相談室や学習室の使用を認めています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	職員会議や朝礼・終礼で業務改善の必要性や方法の話し合い、積極的にAIなどを用いて効率化も図っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	保護者向け評価やご意見を頂戴し、利用料の口座引き落としやお弁当の導入など、業務改善をしています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	毎日の朝礼・終礼、職員会議などで職員の意見を受けスラックを導入し、情報共有に音声から文字化するアプリも導入しました。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	4		第三者評価は導入できていませんが、第三者評価の準備を進めています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	職員会議での法人内研修の他、外部研修にも積極的に参加しています。	研修の報告が職場内で終わっているため、保護者にも周知していきたいです。
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	支援プログラムはホームページから公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	日頃のこどもの様子を観察するだけでなく、学校との面談、保護者との情報共有、こどもとの話を分析し、計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	職員会議の際に担当者会議を実施し、職員の共通理解の下こどもを主体とした計画を作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	1	作成された計画は職員会議で共有し、申し送り用の版に掲示して、会議不参加の職員にも周知しています。	朝礼に参加しないパートさんへの情報共有が課題となっています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0		アセスメントの記入が個人の力量に任せてしまっているため、アセスメントツールの標準化を図りたいです。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	2	放課後等デイサービスガイドラインの研修会を実施して、内容の理解を深めています。	

な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1	職員内で意見を出し合ったり、活動提案の為にグループLINEで提案をしています	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	職員だけではなく子どもたちにも活動の提案を促し、「参加する」だけではなく「自分で作る」楽しさを感じてもらっています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	集団活動に参加できない様子であれば、個別活動に切り替えることもあります。そのため職員も多めに配置しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	1	活動には担当者が決まっており、役割分担をしてチームで実施しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	終礼時に情報共有の時間を設けています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	1	サービス提供記録を毎日作成し、担当者会議の際に振り返って確認しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	1	6ヶ月の定期モニタリングに加え、状況の変化に伴い実施しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	こどもの自己決定をサポートしています。難しい場合は選択肢を提示する等、自己決定の成功体験を提供しています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	1	会議には児童発達支援管理責任者が主に参加していますが、児童の担当職員もともに参加し、会議に慣れるよう育成もしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	必要に応じて関係機関との情報共有や支援の方向性の認識の共有等実施しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	必要時には学校や適応教室などと連絡調整をしています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	2		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	2	まだ、移行していった事例がありませんが、移行の際は情報共有いたします。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	1	地域の行事に参加させていただいています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	2	事業所から2名が参加し、他のスタッフへ内容をフィードバックしています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	送迎時に状況の共有をしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	6		送迎時や面談時に助言させていただいているが、次年度はペアレントトレーニングを実施する予定です。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	1	契約時にお伝えしていますが、保護者会などでも再度周知していきます。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	個別支援更新時には、必ず確認しています。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	1		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	1	保護者会や保護者参観日を設け、兄弟児の参加も受け付けています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	1	苦情があった場合のマニュアルを整備しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	1	毎月、もとかじ通信を発行し、活動やお知らせをお伝えしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	書棚には必ず鍵をかけ、氏名の乗った書類はシュレッダーにかけて処理しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	1	関係機関と連携し、学校で使用している絵カードを導入したり、施設で称しているツールを学校や家庭と共有したりしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	1		地域住民を主体とした行事は実施出来たいたませんが、地域の行事には参加させていただいております。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	2		マニュアルの作成はしているが、保護者へ周知する機会がなかったので作っていききたいです。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	1	定期的な基礎知識の研修と訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0		インフルエンザや新型コロナウイルスの予防接種の把握はしていませんが、必要性があるなら確認します。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	2	食物アレルギーについては保護者から医師の指示を確認し、キッチンにもアレルギー者とアレルギー物質を掲示しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	1	外出時は児童の特徴による座先の位置や職員の乗車位置など、細心の注意を払って熟慮しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1	契約時にお伝えしていますが、保護者会などでも再度周知してまいります。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	ヒヤリハットは職員会議で共有し、1冊のファイルにまとめて誰でもみられるようにしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	虐待を防止する研修は年間に3回以上実施し、虐待防止委員会は年に1回実施しています。また、障害者虐待防止学会にも参加しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	1	身体拘束最適化委員会や研修の場で職員への周知をしています。		